

令和6年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立波多見小学校
(音戸中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	-6.7	-5.4
令和5年度	-4.2	-11.5
令和4年度	+0.4	-2.2

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 61% 全国 67.7% 県 69%</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 我が国の言語文化</p>	<p>重点課題</p> <p>◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることに課題がある。(設問3二(1))【読むこと】(平均正答率44.1%)</p> <p>◇話し合いの話題や展開、資料の内容を多面的多角的に考察し、自己の意見と比較したり関連付けたりして表現することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎低学年だけでなく中学年においても、物語教材の学習において、役割演技を行うなど、登場人物の行動や心情を具体的に想像できるようにする。 高学年の物語教材において、登場人物の心情を複数の叙述を基に考える学習を仕組む。</p> <p>◇話す目的・内容を明確にし、資料や根拠を基に自分の考えをもたせ、相手の考えと比較したり関連付けたりしながら話し合えるような場を様々な教育活動の中で設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎令和6年度全国学力(設問3二(1))(第5・6学年, 2月) 目標70%→結果69%</p> <p>◇教職員アンケート「児童生徒が話し合えるようになっているか」 肯定的評価目標80%→73%</p>
<p>算数</p> <p>本校 58% 全国 63.4% 県 64%</p> <p>数と計算 図形 データの活用 変化と関係</p>	<p>重点課題</p> <p>◎道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。(設問4(3))(平均正答率20.6%)</p> <p>◇事柄が成り立つ理由を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎2つの数量の関係に着目して比べる活動を行う。また、自分の考えを説明する際には、説明のポイントとなる言葉を指導するとともに、正しい記述の穴埋めをする学習を仕組む。</p> <p>◇発達段階に応じて話型や条件を示しながら数学的に表現する学習を行う。</p> <p>検証</p> <p>◎令和6年度全国学力(設問4(3))(第5・6学年, 2月) 目標70%→結果77%</p> <p>◇学年末テスト活用問題(中学校記述式・小学校思考・判断・表現問題) 目標70%→結果71%</p>

【来年度に向けて】

- ・引き続き、話し合い活動の際には目的を明確にさせることで、国語科・算数科において、児童同士が話し合いながら考えを深められるようにする。
- ・話し合い活動の際には、国語科においては叙述を根拠とすること、算数科では数学的な表現を用いることを意識させる。
- ・キュビナ等を活用して、基礎学力の定着を図る。